



▲講習会のようなす

村では、本年度、「までいライフ」の推進事業として、平成20年度公益信託うつくしま基金の助成を受けて、までの精神の「思いやりの心」「人へのやさしさ」を唱え、ソフト面のユニバーサルデ

ユニバーサルデザインが 五感で紡ぐまでの里

～思いやり推進事業～



▲NPOによる紙芝居のようす

「5/21 ユニバーサルデザイン講習会」において、ユニバーサルデザイン講習会を開催し、約40名が参加しました。講習会では『村とNPOが協働で取り組む「ユニバーサルデザイン」とは何か』をテーマに、NPOメンバーによる「紙芝居」やメインアドバイザー

ザインを目指している「NPO法人ユニバーサルデザイン・結（代表理事 富樫美保）」との協働事業として、『ユニバーサルデザインが五感で紡ぐまでの里 思いやり推進事業』を実施しています。

5月21日、「いちばん館」において、ユニバーサルデザイン講習会を開催し、約40名が参加しました。講習会では『村とNPOが協働で取り組む「ユニバーサルデザイン」とは何か』をテーマに、NPOメンバーによる「紙芝居」やメインアドバイザー

(参考)

ユニバーサルデザイン

高齢であることや障害の有無などにかかわらず、すべての人が快適に利用できるように製品や建造物、生活空間などをデザインすること。アメリカのロナルド・メイが提唱した。『大辞泉増補・新装版』（小学館）より

出席した参加者は、「ユニバーサルデザインが身近に考えられた」、「誰でも暮らしやすい生活が、ユニバーサルデザインということがわかった」などユニバーサルデザインの考え方や取り組み方について理解を深めていました。

ザーの白石正明氏（国際プロダクティブ・エージング研究所）による「講話」を行いました。



▲講話を行うメインアドバイザーの白石正明先生



▲もりの駅「まごころ」の施設見学をする参加者



▲やすらぎでの意見交換のようす

までい まごころ
ユニット

村

3者寄れば文殊の知恵

5/27

合同研修会開催

5月27日、いいたてまでいユニット（代表 佐藤弘子応援団長）と村職員、もりの駅「まごころ」関係者の合同研修会が行われました。

この研修会は、3者が「まごころ」を含めた村内直売所の振興策について話し合い、今後の応援活動につなげることを目的として実施され、助言者の岩崎由美子福島大学准教授を含めた25人が参加しました。

第1部では「まごころ」の熊谷清マネージャーから、施設の設置目的や経営上の課題などの説明を受けた後、施設内部の見学をしました。第2部は、「やすらぎ」で行われ、参加者は3つのグループに分かれて「村の直場所」について意見が交わされました。

参加者からは「年間を通した栽培計画を作り、生産者同士で共有し、品薄にならないような工夫が必要」「お客様の苦情は、業務改善のための最大の情報。クレーム改善マニュアルを作るべき」「消費者ニーズに合わせて惣菜を増やすと良い」など活発な意見がだされました。

また、研修会後「まごころ」の食材や加工品を囲んで和やかに交流が行われました。

飯館村生活安全協議会

5/8 総会開催

「いちばん館」において平成20年度飯館村生活安全協議会総会が開催されました。

総会では、19年度の活動として、『交通安全部会』から、『交通安全運動』や『街頭キャンペーン』等について、『防犯部会』は『交通安全・防犯パレード』、『全戸一斉防犯診断』、『年末の防犯パトロール』な



▲総会のようす

ど、『防災部会』は、『春季検閲式』や『防火パレード』、『火災予防電話リレー』をはじめとする防災に係る活動など、それぞれ報告され、その後収支決算について報告されました。

その後、今年度の事業計画や収支予算について審議し、全て原案通り可決しました。

また、『交通死亡事故ゼロー〇〇〇日』について、平成21年5月10日（午前0時）に達成予定されることや、6月1日から「後部座席のシートベルト着用義務化」されることを確認しました。

出席者は、「村民が安全で安心して暮らせる地域社会」の重要性を改めて確認し、今後の活動に向けて意識を高めていました。

こころのぽけっと

「次世代育成に…も」

村には、毎月発行の「広報いいたて」の他、いいたて福祉会や社会福祉協議会が年2・3回発行している会報等があります。そのいずれの機関紙にも、後ろの方に村民の方の善意が載っているのを皆さんもご存知だろうと思います。

「福祉に使ってください」「〇〇に使って…」というお金の善意の他に、忙しい中時間を割いてお手伝いを頂いている、いわゆる「ボランティア」であったり、物品の供与であったりと感謝してもしきれない話がいっぱいあります。

そういう意味からすると、わが村は村民の方の「志」や「思いやり」、そして「助け合おう」「お互いさま」という心が、他の自治体よりはるかに勝っているし、また広がっているのではないかと思います。そのような行為を行う村民が多いということは、村

にとって、とても力強い限りであり、誇りでもあります。

善意で多いのは「福祉に役立てて下さい」というご遺志金です。ますます高齢化社会になっていくのですから「福祉に」ということは本当にありがたいことですが、一方でこれからは「少子化社会」でもありますから「次世代育成に…」という考え方もあってもいいのではないかと考えました。

それで、今から1年前に子ども達に使わせていただく「いいたてつ子未来基金」というものを作りました。まだ余り知られていませんが、近頃「子どものため使ってください」という寄付や「福祉」と「子ども」に半々ずつ…という方も少しずつ増えてきていただいております。本当に頭が下がる思いの善意であります。

「高齢化社会」であり「少子化社会」でもあるこれからの時代、村としての力の入れどころは、老後を安心して迎えられる社会づくりであり、また私たちの老後を支えてくれる子ども達への支援なんだろうと思います。自分たちの将来の住みよい社会作りのため、そしてこれからも続くであろう飯館村の活力ある村づくりのため、皆さんのこれまでいろいろな善意が、両方に目を向けていただければとても幸いです。

平成20年5月26日

飯館村長 菅野 典雄

5/19

古川信さんに
瑞宝単光章



▲左から渡部純市分署長、荒利喜消防団長、古川信さん、菅野村長

平成20年春の叙勲伝達式が東京都内で開かれ、元飯館村消防分団長の古川信さん（飯樋町）が、消防功勞として栄えある瑞宝単光章を受章しました。

古川さんは、昭和33年に入団して以来、42年間にわたり村消防団員として、予防消防や災害現場において地域や住民の安全確保に尽力してきました。今回の章は、長年の活動の功績に対して贈られたものです。

受章報告のため役場に訪れた古川さんは「地域住民や消防団員たちのご支援があってこそこの章。本当にありがとうございます」と受章の喜びと感謝の気持ちを話していました。

地域への貢献ありがとう

5/16

交通安全母の会連合会表彰



▲受章の報告に訪れた木幡久美子会長(左)と菅野村長(右)

飯館村交通安全母の会連合会（木幡久美子会長）が、福島県交通安全母の会連絡協議会（山崎信子会長）から「優良母の会」表彰を受けました。村交通安全母の会連合会は昭和61年の結成以来、毎年春

に新入学、入園児童に手作りの交通安全マスコットを贈呈し、子どもたちの交通事故防止に貢献してきました。また、「交通安全キャンペーン」などの交通安全運動にも積極的に参加し、家庭内、地域内から交通事故防止に努めていることが高く評価されました。

この日、受賞報告のため役場に訪れた木幡久美子会長は「子どもたちや地域のための活動が評価されて嬉しい。今後、後にも頑張りたい」と話していました。



誕生おめでとう

赤ちゃんのなまえ

親の氏名

行政区

佐藤 碧衣ちゃん	智里・晶子	草 野
佐藤 悠仁くん	政見・季美江	上 飯 樋
高橋 優くん	真琴・里美	関 沢

すくすくと元気に育ってね

結婚おめでとう

氏 名

行政区

菅 野 喜 章	関根・松塚
中 津 加奈子	相 馬 市

いつまでもお幸せに

お く や み

氏 名

年 齢

行政区

久 米 フミ子	87	佐 須
佐 藤 武	88	比 曾
今 村 多喜子	82	大久保・外内
横 山 チヨ	102	伊 丹 沢

ご冥福をお祈り申し上げます

（4月21日から5月20日までに届け出のあったものを掲載）
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出のときに住民係へ申し出てください。

ひとのうごき

（平成20年5月1日現在）

人 口		今 月 (前月比)	昨年同期
男	3148人 (-5人)	3227人	
女	3167人 (-18人)	3259人	
計	6315人 (-23人)	6484人	
世帯数	1693戸 (+1戸)	1731戸	

◆◆◆4月1日～31までの人口動態◆◆◆			
転入	13人	転出	35人
出生	4人	死亡	5人

（平成17年国勢調査に基づき増減された現住人口）